

平成26年度 第3回富山県公共事業評価委員会

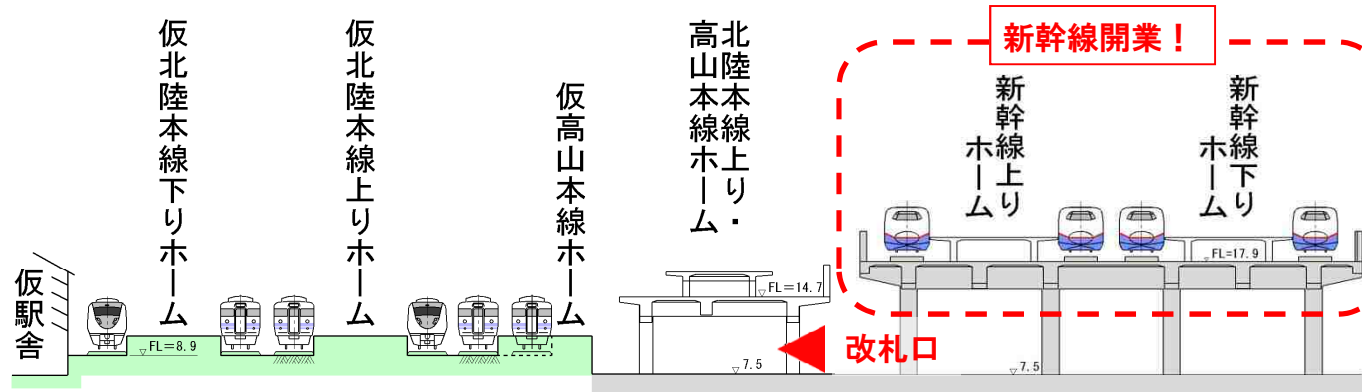
平成26年10月29日
富山県 土木部

富山駅付近連続立体交差事業 について

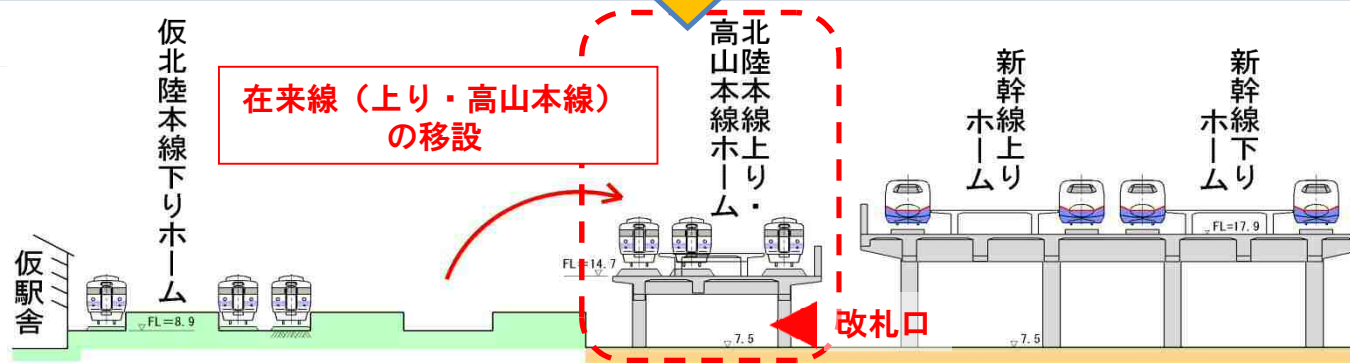
富山駅付近連続立体交差事業について①

(高架化の施工順序)

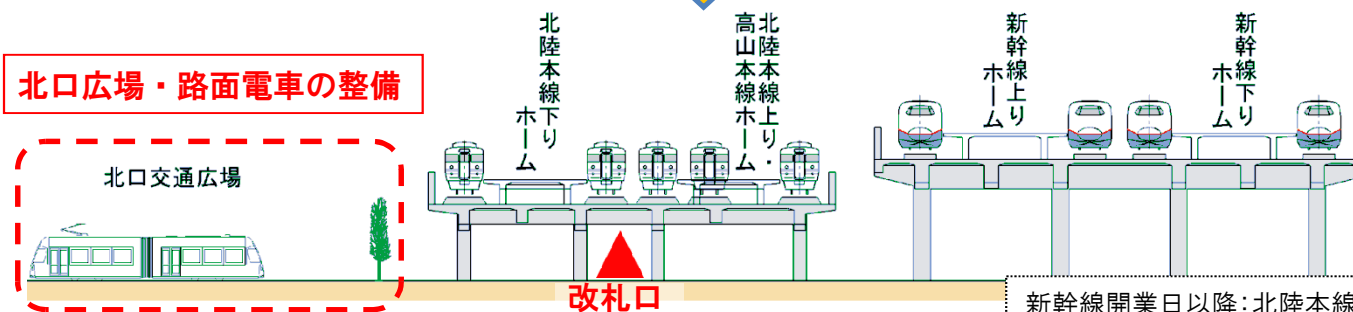
新幹線開業日



開業日から
約1ヶ月後



平成31年頃



新幹線開業日以降: 北陸本線⇒あいの風とやま鉄道線

富山駅付近連続立体交差事業について② (整備スケジュール)

③平成33年頃までに整備

- (都) 牛島蛭川線 (県)
- ・ 道路拡幅

④平成33年頃までに整備

- 地鉄連立事業 (県)
- ・ 地鉄高架化工事

②平成31年頃までに整備

- (都) 富山駅南北線 (市)
- ・ 道路新設

- 路面電車南北接続 (市)
- ・ 新電停の整備
- ・ 富山ライトレールと市内電車の接続

- 南北自由通路 (市)
- ・ 歩行者用通路

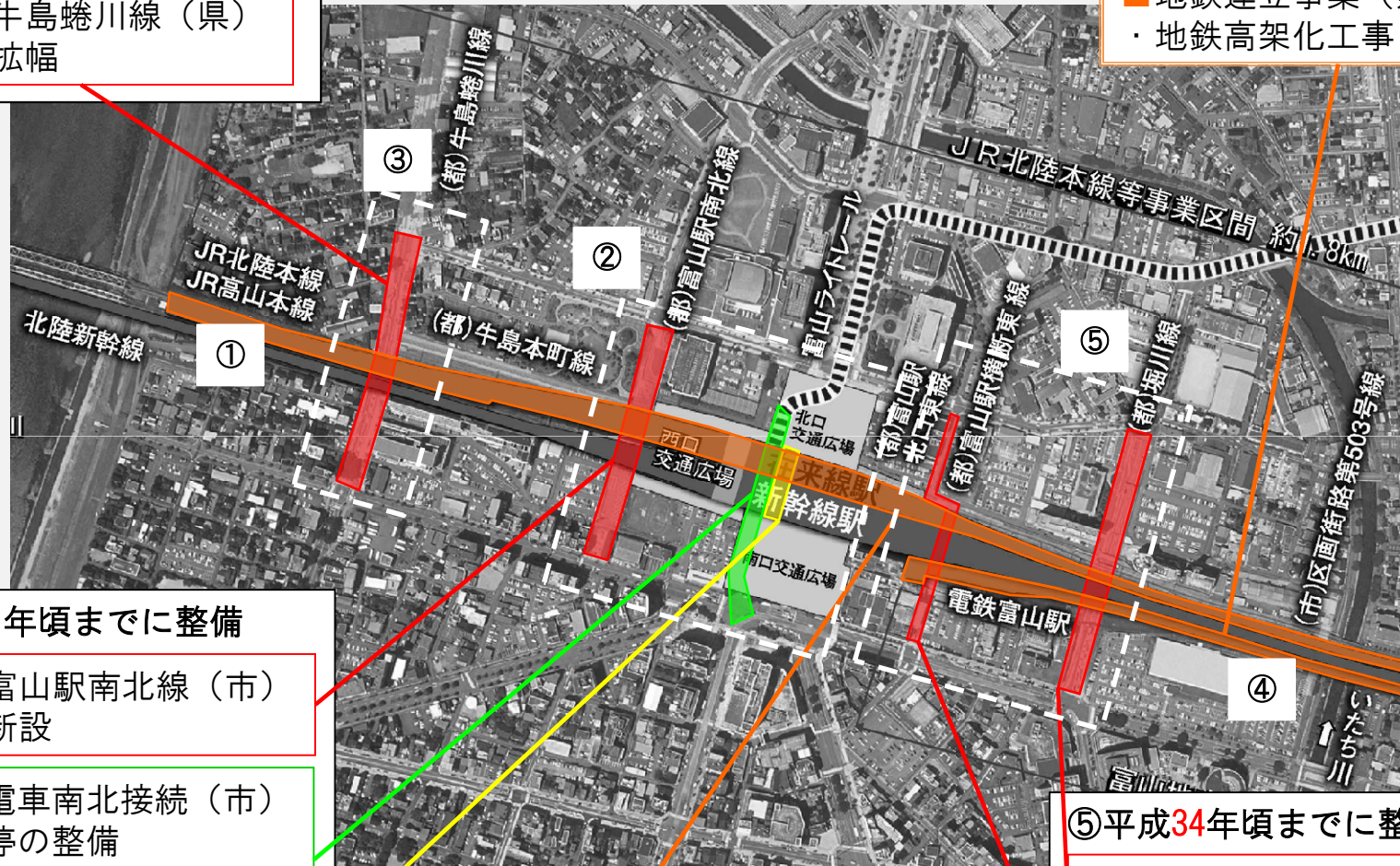
①平成30年頃までに整備

- JR連立事業 (県)
- ・ 在来線高架化工事

⑤平成34年頃までに整備

- (都) 堀川線 (市)
- ・ 道路拡幅

- (都) 富山駅横断東線 (市)
- ・ 道路新設



豪雨災害対策について

平成26年度9月補正予算

県単独道路・河川等災害復旧・未然防止対策事業①

近年、全国各地でゲリラ豪雨等による**災害**が頻発

本県でも、今年7月に魚津市を中心とした豪雨により、河川の護岸や農業用施設等に**被害**が発生



北日本新聞 撮影
7/20 0:35頃
(下村木町)



富山新聞 撮影
7/20 1:10頃
(本江新)

- ・7月19日魚津市六郎丸地内で観測史上最大の83mm(日最大1時間降水量22時54分～)を記録
- ・魚津市、高岡市などで床上、床下浸水等の被害が発生

多くの公共土木施設等が**被災**



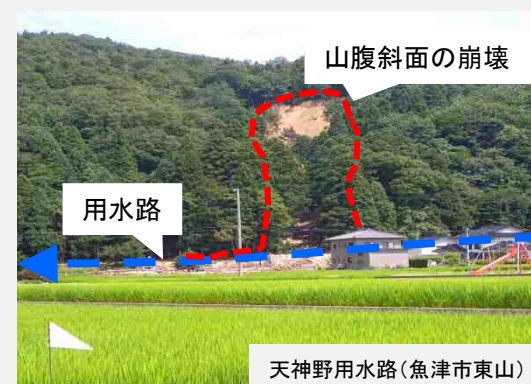
鴨川・本江橋(魚津市本江)

河川内に土砂が堆積し、流下能力が低下



県道黒谷上村木線(魚津市東山)

道路法面が崩壊し、全面通行止め



山腹斜面の崩壊

用水路

天神野用水路(魚津市東山)

山腹斜面が崩壊し、農業用水路が埋塞

平成26年度9月補正予算

土木部、農水部あわせて10億円

県単独道路・河川等災害復旧・未然防止対策事業②

災害復旧に加え、河川堤防の嵩上げや浚渫、道路法面崩落対策、
用排水路改修工事等により被害を未然に防止

災害復旧 対策



河川内に堆積した土砂の浚渫



待受け擁壁に堆積した土砂の除去

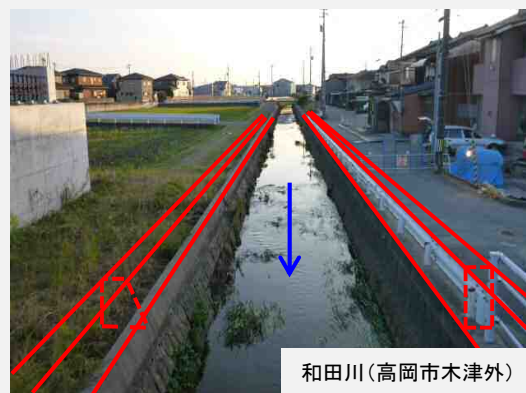


崩壊した山腹斜面の復旧

未然防止 対策 (被災地域に限定せず、県内各地でまんべんなく実施)



流下能力を高める河道の浚渫



河川の溢水を防ぐ河川堤防の嵩上げ



機能低下した横ボーリング工の洗浄

「土砂災害警戒情報」に関する新たな取組み

(市町村の避難勧告の発令に対する支援)

これまでの取組みと課題

【土砂災害警戒情報】

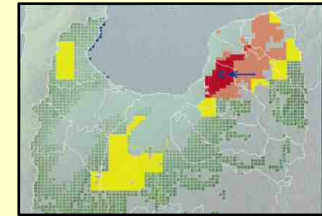
- ・降雨による土砂災害の危険が高まったときに、市町村長の**避難勧告**の発令や住民の**自主避難**の判断材料となるもの。
- ・富山県では、平成19年9月から富山地方气象台と連携し、市町村単位を基本に発表



富山市は平地部、山間部西、(同)東の3地域に分割して発表

～現状の課題～

情報を受けとった市町村は、危険度状況図をもとに土砂災害の危険性が高い地域を判読



危険度状況図
(富山県土砂災害警戒情報システム)

**避難勧告対象地域の
絞り込みに時間がか
かってしまう**

新たな取組み(きめ細やかな補足情報の提供)

土砂災害警戒情報が発表された際、市町村に対し、

特に土砂災害の危険性が高い「地域名」をFAXで提供
(今年7月の豪雨災害を契機に、8月19日から**魚津市**で試行)

内閣府は『市町村への支援として
全国で参考になる事例』と評価

【提供例】土砂災害警戒情報発表時に
以下の内容を追加提供

「土砂災害警戒情報」を発表した
主な地名は次のとおりです。

魚津市「東山」など周辺地域

今後、魚津市をはじめ市町の防災実務者から意見や要望を聞きながら、
全市町への拡大について検討